



2019年3月期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2019年5月30日

1. 2019年3月期決算および 2020年3月期見通しの概要

2. セグメント別の状況

3. 中期経営計画の進捗

2019年3月期 決算ポイント

売り上げはほぼ横ばい。営業利益は高収益製品の減収、償却費増および諸資材の値上り等により大幅減益

売上高 639億67百万円 [前期比 +0.7%]

中国向けコアワイヤが減収も、原油高による石油製品売上増によりほぼ横ばい

営業利益 8億54百万円 [前期比 △72.4%]

高収益製品（コアワイヤ）の減収影響、設備投資先行による減価償却費増および諸資材の値上り等によるコスト増により大幅減益

親会社株主に帰属する当期純利益 1億53百万円 [前期比 △93.9%]

投資有価証券評価損、災害損失等を特別損失に計上

2019年3月期 決算ハイライト

(金額:百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	63,537		63,967		+430	(+0.7%)
営業利益	3,094	(4.9%)	854	(1.3%)	△2,240	(△72.4%)
経常利益	3,114	(4.9%)	908	(1.4%)	△2,206	(△70.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,523	(4.0%)	153	(0.2%)	△2,370	(△93.9%)

キャッシュ・フロー

営業活動：概ね期間利益および減価償却費見合い

投資活動：有形固定資産の取得（CFCC北上工場等）

財務活動：有利子負債の圧縮、配当金支払など

（金額：百万円）

	2018年3月期	2019年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	3,144	4,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,202	3,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,475	△4,029
フリー・キャッシュ・フロー	726	△782
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	△268
その他（為替換算差・新規連結に伴う増減）	356	7
現金及び現金同等物の期末残高	4,352	3,308

設備投資の状況

2019年3月期
設備投資額

3,440百万円
(前年同期比+462百万円)

鋼索鋼線土浦工場 戦略投資	7億円
鋼索鋼線事業ITシステム投資	5億円
スチールコード北上工場生産性向上投資	3億円
CFCC北上工場建設	8.5億円
防災製品カザフスタン新工場	3.5億円
その他	7億円

2020年3月期 見通し

成長戦略(CFCC、海外防災製品)の進展により増収増益

(金額:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	63,967		67,000		+3,033	(+4.7%)
営業利益	854	(1.3%)	2,000	(3.0%)	+1,146	(+134.2%)
経常利益	908	(1.4%)	2,000	(3.0%)	+1,092	(+120.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	153	(0.2%)	1,500	(2.2%)	+1,347	(+880.4%)

配当方針

2020年3月期：40.0円の配当を予定

年 度	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予定
配 当 (年度当り)	40.0円/株	40.0円/株	40.0円/株
配当性向 (連結)	25.6%	420.4%	43.0%

安定配当を継続する

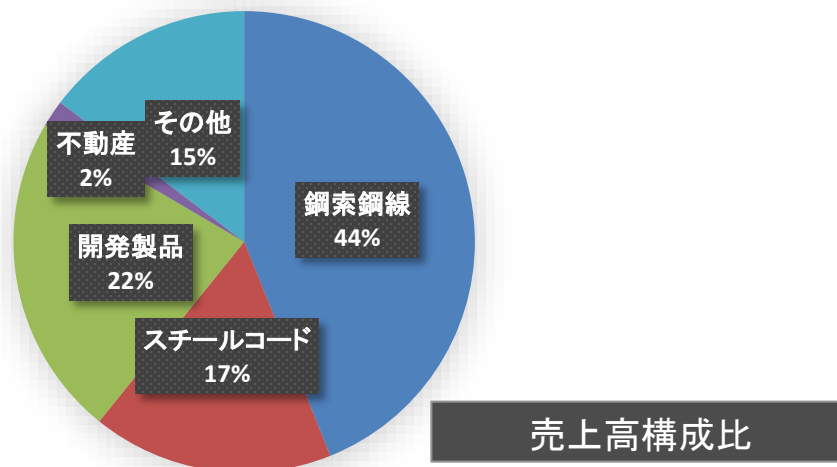
1. 2019年3月期決算および 2020年3月期見通しの概要

2. セグメント別の状況

3. 中期経営計画の進捗

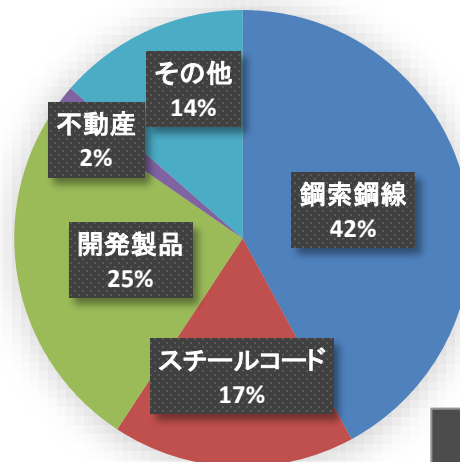
セグメント別実績

	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼索鋼線	27,531	1,912	28,084	1,523	+553	△389
スチールコード	11,436	534	10,811	△939	△625	△1,473
開発製品	14,799	△401	14,482	△737	△317	△336
不動産	1,215	329	1,201	329	△14	+0
その他	8,553	719	9,387	678	+834	△41
合計	63,537	3,094	63,967	854	+430	△2,240



セグメント別見通し

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鋼索鋼線	28,084	1,523	28,200	1,700	+116	+177
スチールコード	10,811	△ 939	11,500	△ 600	+689	+339
開発製品	14,482	△ 737	17,000	0	+2,518	+737
不動産	1,201	329	1,200	300	△1	△29
その他	9,387	678	9,100	600	△287	△78
合計	63,967	854	67,000	2,000	+3,033	+1,146



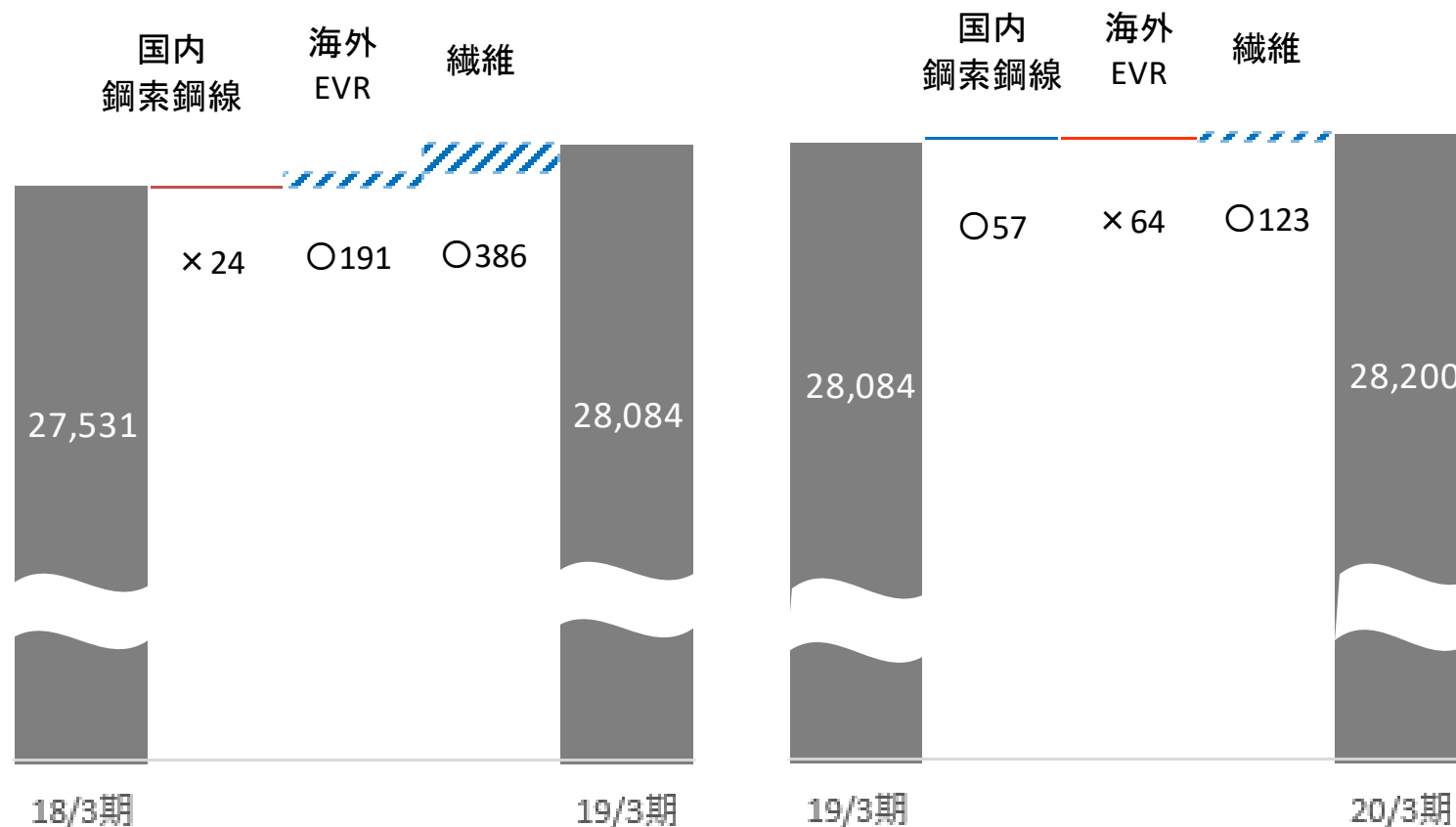
売上高構成比

鋼索鋼線セグメント(売上高)

(単位:百万円)

'19/3期: 繊維ロープが水産向けを中心に増収、海外エレベーターロープも回復

'20/3期: 繊維ロープが若干の増収を見込むがほぼ横ばい



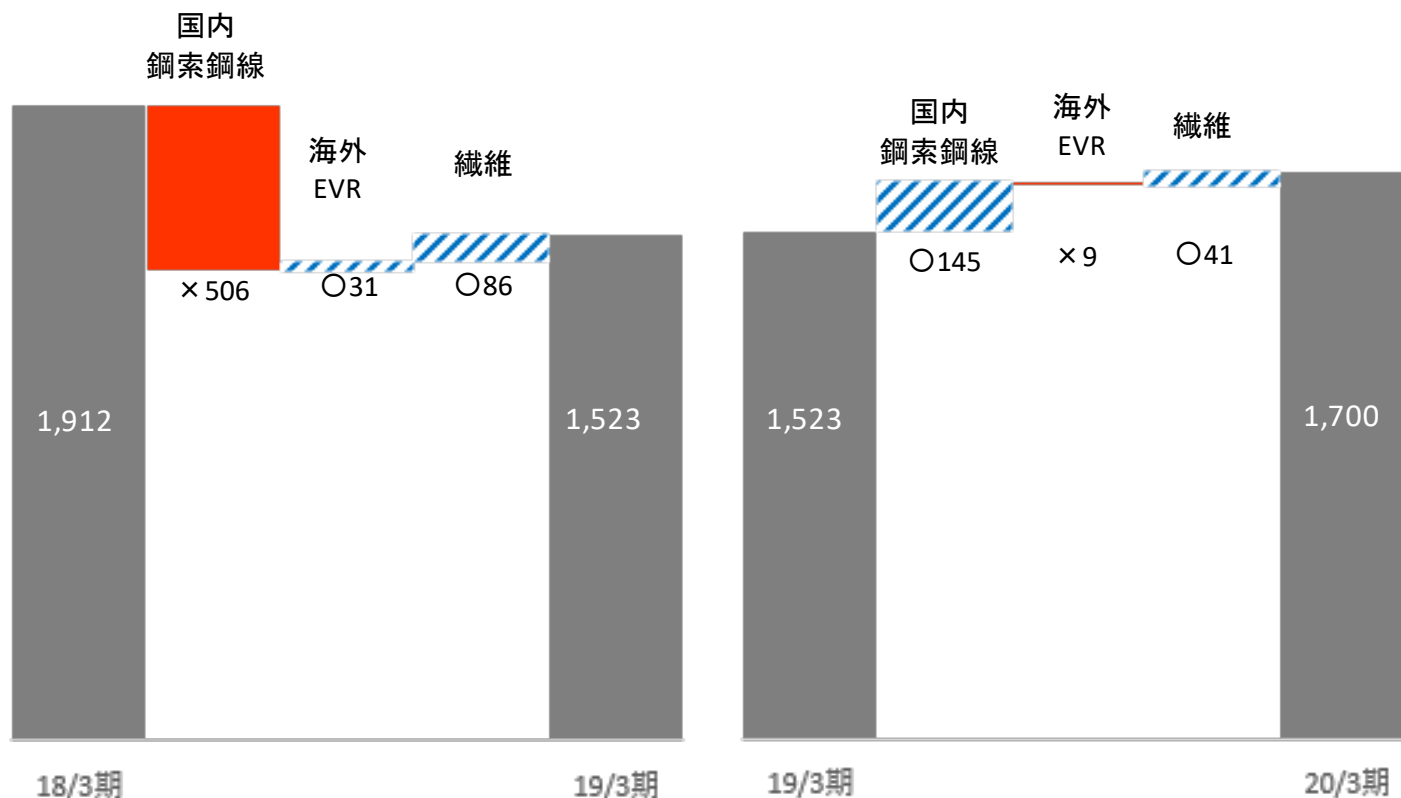
EVR…エレベーターロープ

鋼索鋼線セグメント(営業利益)

(単位:百万円)

'19/3期:国内主要工場の設備投資による償却費および諸資材の値上りによるコスト増により減益

'20/3期:国内工場投資効果、国内販売ミックス良化および繊維ロープの増収により増益



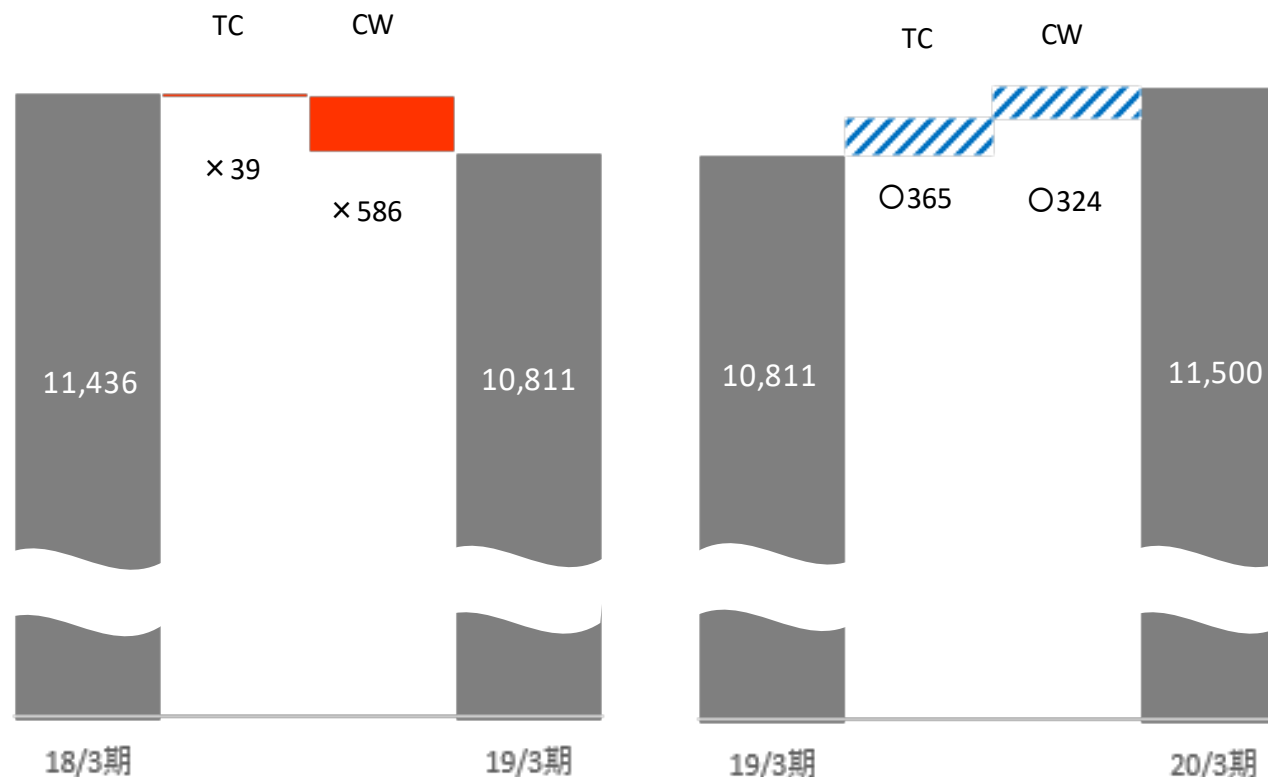
EVR…エレベーターロープ

スチールコードセグメント(売上高)

(単位:百万円)

'19/3期: 中国PV産業の大幅なリセッションによりコアワイヤが大幅減収

'20/3期: タイヤコードの国内販売数量増および中国向けコアワイヤの一部回復を見込む



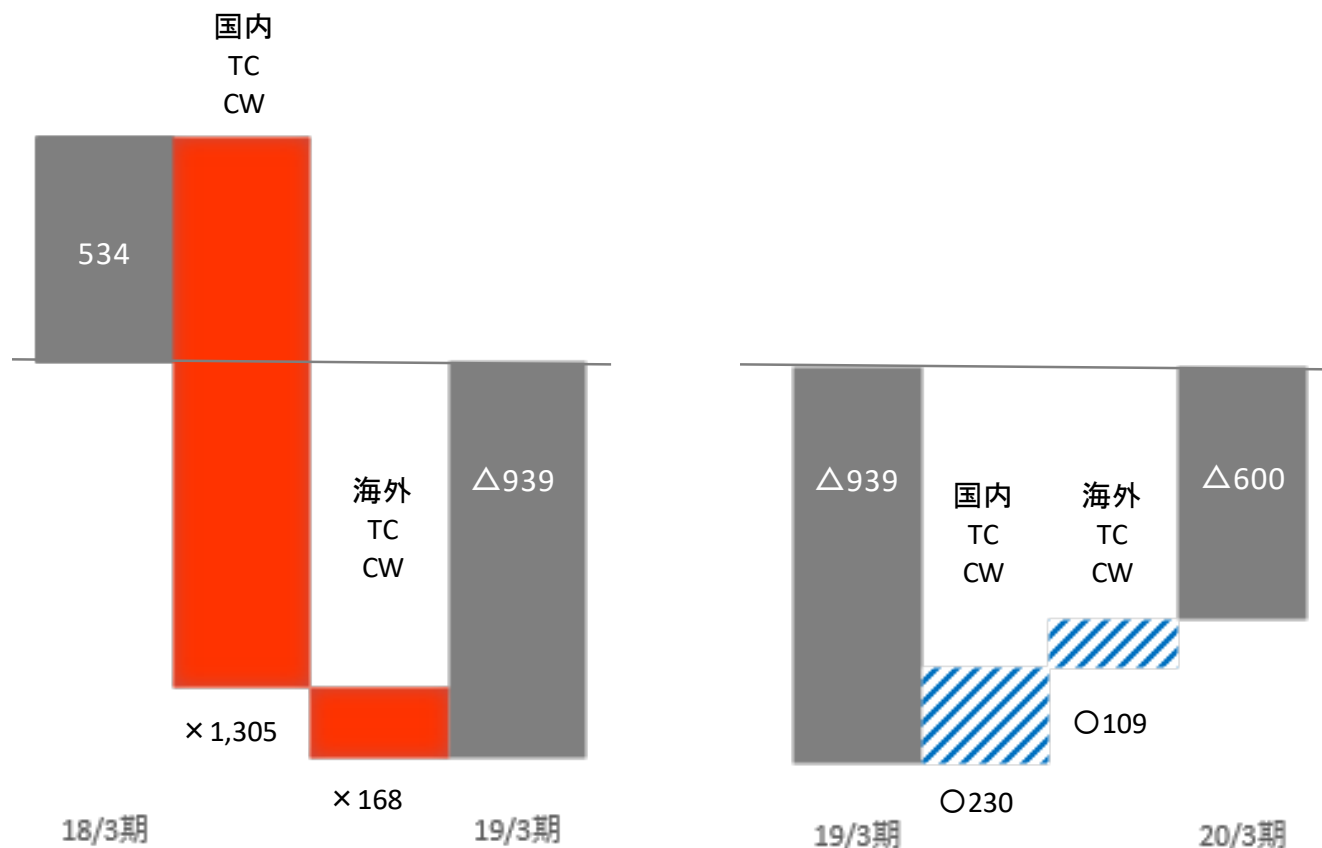
CW…ソーワイヤおよび
コアワイヤ

スチールコードセグメント(営業利益)

(単位:百万円)

'19/3期:コアワイヤの減収および原材料・エネルギー等のコスト増の影響により大幅減益

'20/3期:コアワイヤの増収により国内・海外とも赤字幅が改善



スチールコードセグメント

～コアワイヤの現況について～

中国PV業界で起こったこと

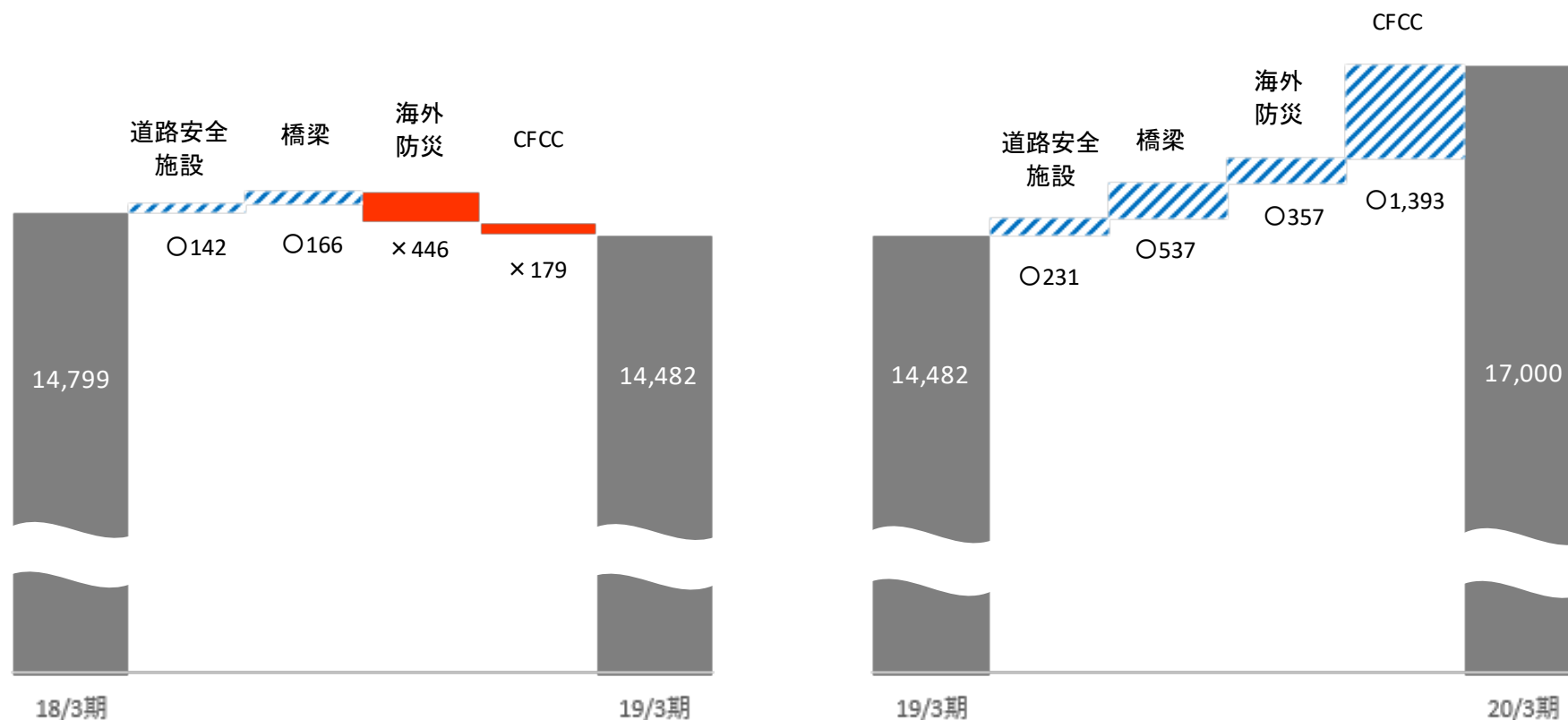
2016年	新規PV導入量が76GW(前年比+21GW)と急増 中国ローカルDWメーカーが本格的に生産を開始 心ワイヤ(CW)の直径は80ミクロンが主流
2017年	新規PV導入量が99GWまで増加 多結晶ウェハーの切断にもDWが普及。需要が爆発的に増大 DW市場への新規参入が増加し、生産キャパが需要に2倍以上に膨らむ CWの直径は70ミクロンへ
2018年	CWの直径が65ミクロンへ
同年5月末	中国政府が補助金政策の変更を発表。同時にDWの動きが止まる DWメーカーの淘汰(寡占化)が進む
2019年現在	在庫調整終了し、定常状態へ移行 単結晶ウェハーへの切り替えが進む。CWの直径は55~60ミクロン

開発セグメント(売上高)

(単位:百万円)

'19/3期: 成長戦略であるCFCCおよび海外防災製品の進捗遅れにより減収

'20/3期: CFCCおよび海外防災製品の海外展開進捗および海外橋梁案件により増収

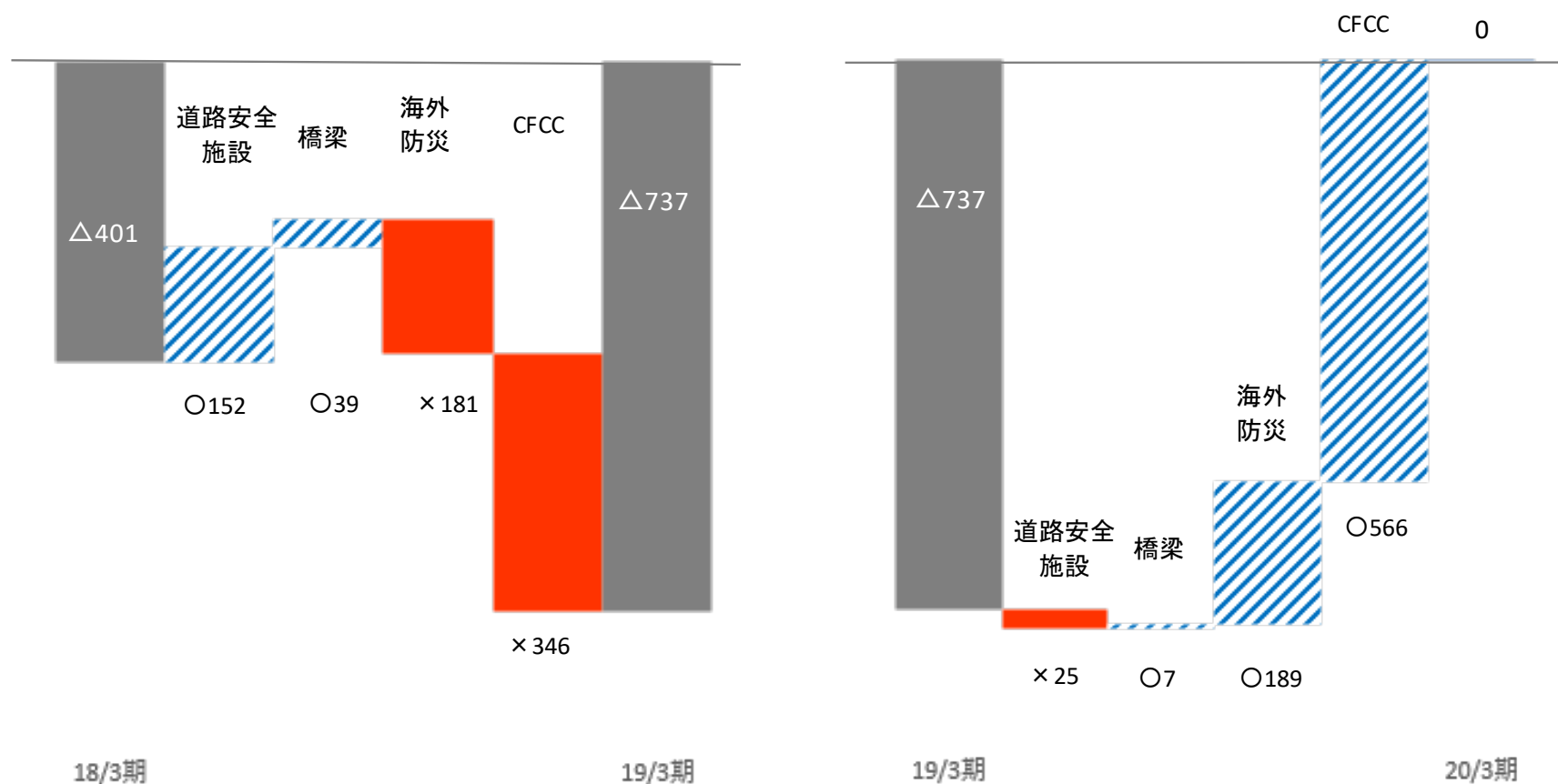


開発セグメント(営業利益)

(単位:百万円)

'19/3期: CFCC北上工場立上げ費用等の先行コスト増により減益

'20/3期: CFCCおよび海外防災製品の増収に伴い増益

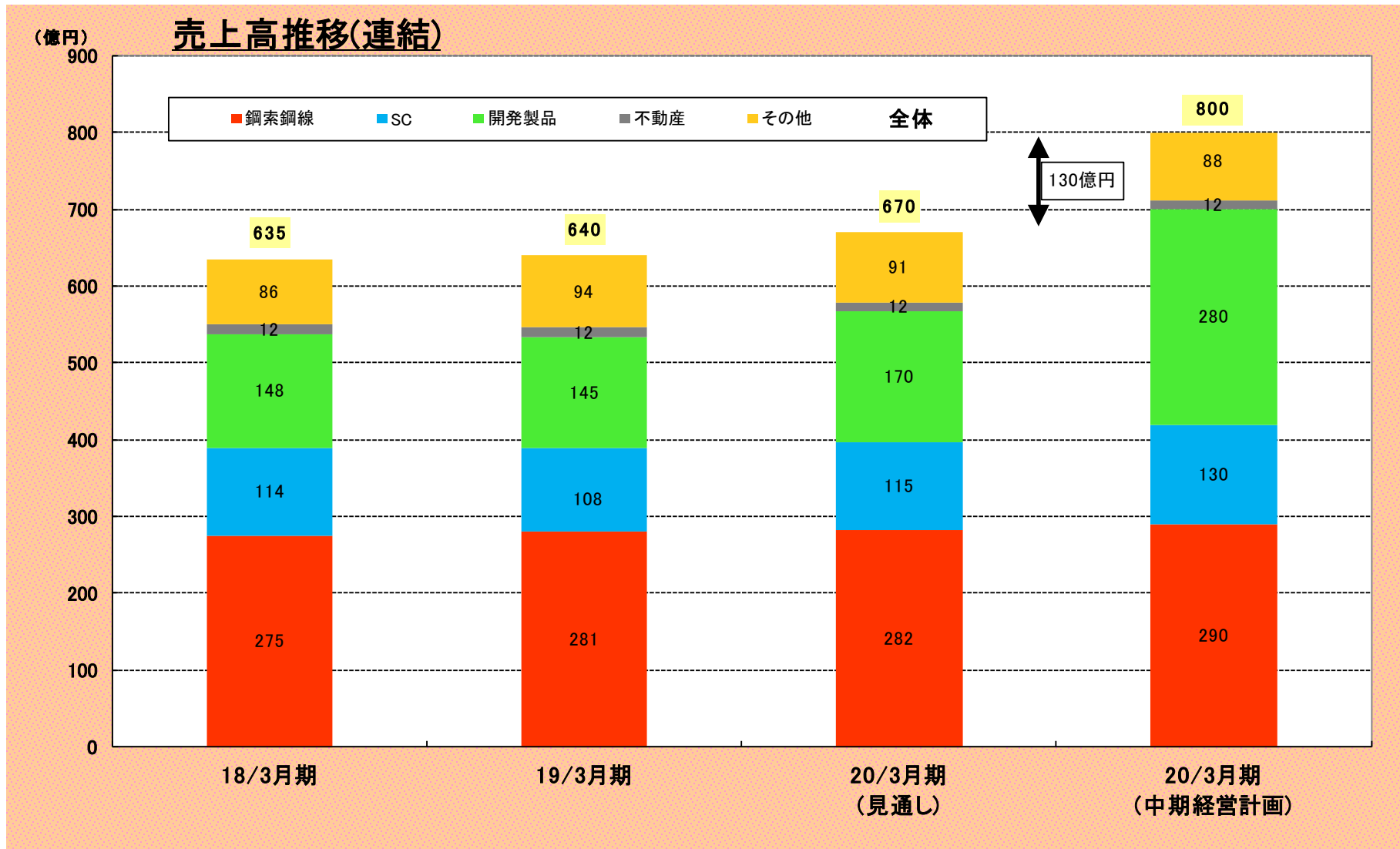


1. 2019年3月期決算および
2020年3月期見通しの概要

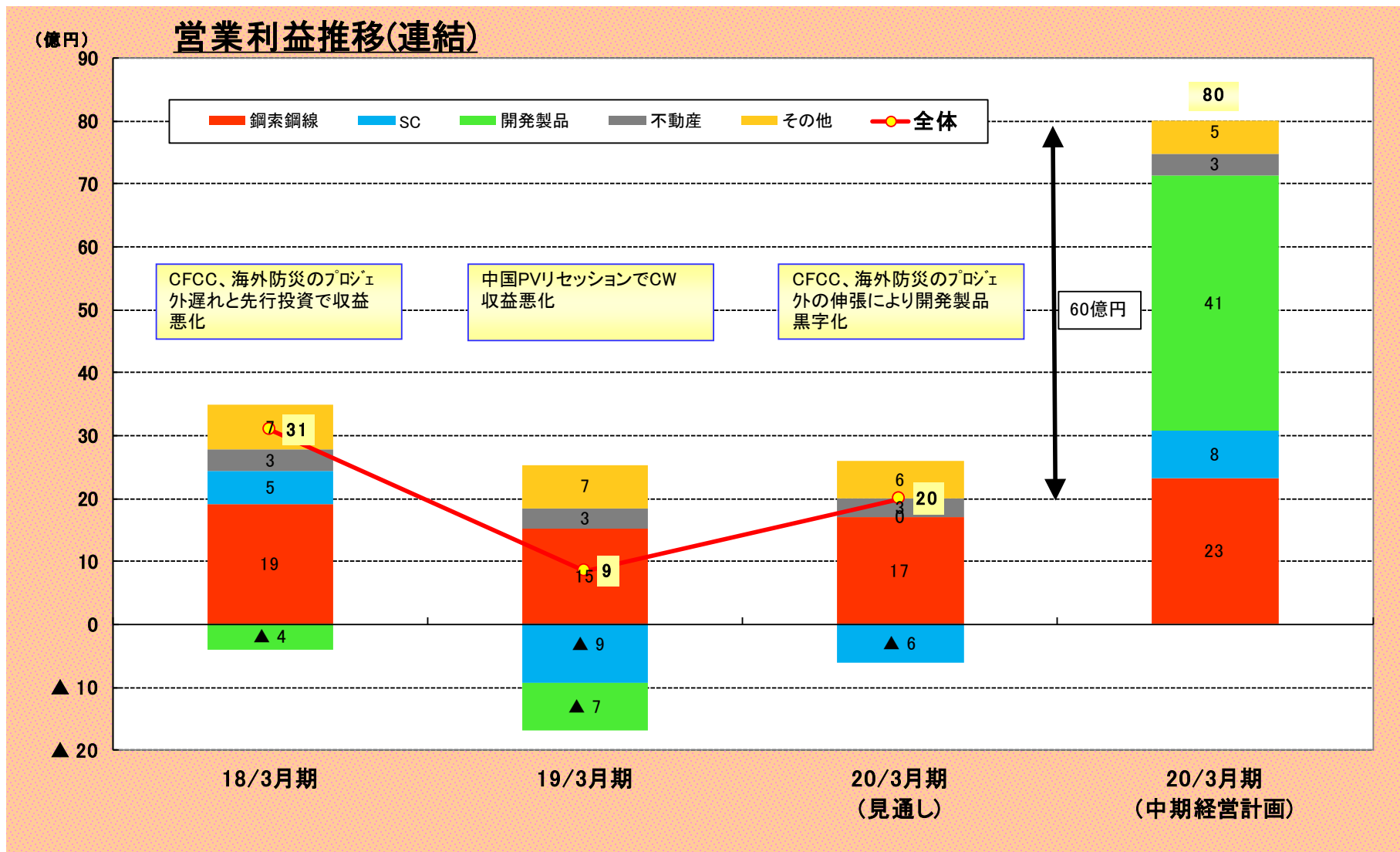
2. セグメント別の状況

3. 中期経営計画の進捗

中期経営計画 TCT-Focus2020目標値 と実績見通し(売上高)



中期経営計画 TCT-Focus2020目標値 と実績見通し(営業利益)



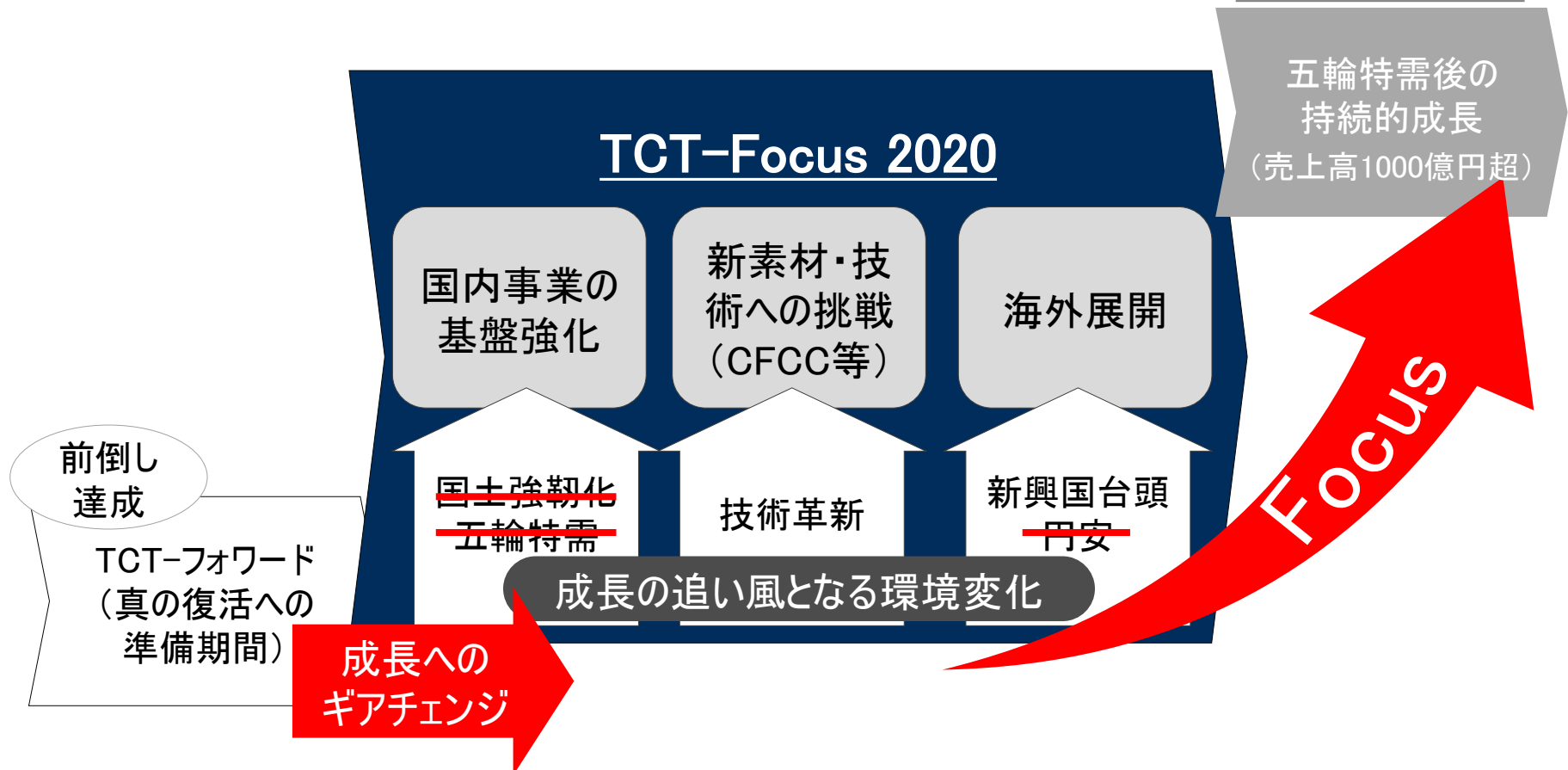
中期経営計画 TCT-Focus2020 の基本コンセプト

TCT-Focus2020の基本コンセプトは「国内事業の基盤強化」、「新素材・新技術への挑戦」、「海外展開」の3つをキーワードとして、全事業の活性化に挑戦することであった。環境変化、着手遅れ、進捗遅れにより目標が達成できないことが明らかになった。今年度は積み残した課題に取り組み、それを踏まえて新しい次期中期計画の策定を進めます。

～2014年

2015年～2019年

2020年以降



TCT-Focus 2020

国内事業の
基盤強化

新素材・技
術への挑戦
(CFCC等)

海外展開

~~国土強靱化~~
~~五輪特需~~

技術革新

~~新興国台頭~~
~~円安~~

成長の追い風となる環境変化

前倒し
達成

TCT-フォワード
(真の復活への
準備期間)

成長への
ギアチェンジ

五輪特需後の
持続的成長
(売上高1000億円超)

Focus

成長戦略の遅れをキャッチアップするために

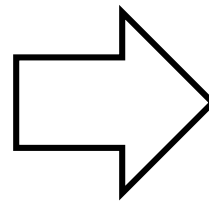
中期経営計画の成長戦略を加速するためにCFCCおよび海外防災製品事業を分社化し、東京製綱インターナショナルを設立した。



当初目標値(2020年3月期)

売上高 130億円

営業利益 25億円



初年度(2019年3月期)

対計画で大幅な乖離が発生

キャッチアップ策の検討へ

CFCC事業：『需要を捕捉するための周辺技術および販促体制を確立し、具体的なプロジェクトを獲得する』

海外防災事業：『中央アジアおよび周辺地域でのローカライズ戦略推進とODAを利用した新たな市場への展開』

東京製綱インターナショナル(株)の状況 1

CFCC®事業展開推移

年度	主な売上物件	主な設備投資（生産能力）【投資額】	人員数
2011年		蒲郡CFCC長尺化検証工場設立 (120km/年)【5億円】	14名
2012年	北米土木(41百万円)	蒲郡工場増設(1,000km/年)【2億円】	21名
2013年	中国海南島架空電線(23百万円) 北米土木(124百万円)		23名
2014年	ｲﾝﾄﾞ ｷﾞｱ 架空電線(65百万円)	蒲郡工場増設(1,500km/年)【2億円】	22名
2015年	ｲﾝﾄﾞ ｷﾞｱ 架空電線(587百万円)		45名
2016年	ｲﾝﾄﾞ ｷﾞｱ 架空電線110百万円) 北米土木(89百万円)	蒲郡工場増設(2,500km/年)【2億円】 北米工場設立(1,000km/年)【8億円】	48名
2017年	小名浜・釧路ﾊﾞﾙｸ 棧橋(162百万円)	北米工場の土地・建屋購入【5億円】	52名
2018年	ｲﾝﾄﾞ ｷﾞｱ・北米架空電線 北米土木(PCパイル)	北上工場設立(3,500km/年)【15億円】	73名

東京製綱インターナショナル(株)の状況 2

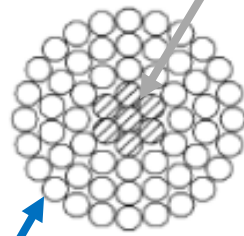
CFCC® 送電線事業の海外展開

CFCCをコアに使用したHTLS(High Temperature Low Sag)電線

従来送電線



スチールコア

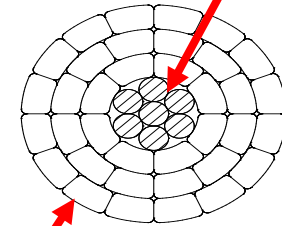


アルミ丸線

CFCC電線



CFCC



アルミ異形線

コア素材がスチールからCFCCに変わる主要メリット

- ✓ コア軽量化→外装アルミ断面積増→低ロス効果or増容量
- ✓ 高強度→低サグ、低鉄塔・長径間
- ✓ 低線膨張率→高温運転化での離隔(低サグ)確保

先行するほかのHTLS(High Temperature Low Sag)電線との競争においても、3つの特性がいずれも優れており、炭素繊維心がHTLSの主流となる。

東京製綱インターナショナル(株)の状況 3

C F C C[®] 送電線事業の海外展開

架空送電線市場の概況

架空送電線の世界年間需要量(張替・新設)推定:50~80万km
内、HTLS(High Temperature Low Sag)電線:10万km

- ・ 発展途上国 : 同一サイズ、同一重量で送電量を2倍にできるので、既存鉄塔を使用して増容量が可能。
- ・ 先進国 : 架空電線の老朽更新時期にあたっている。
HTLS電線を使用することで増容量、送電ロス削減、低Sag化による安全性向上を実現。

東京製綱インターナショナル(株)の状況 4

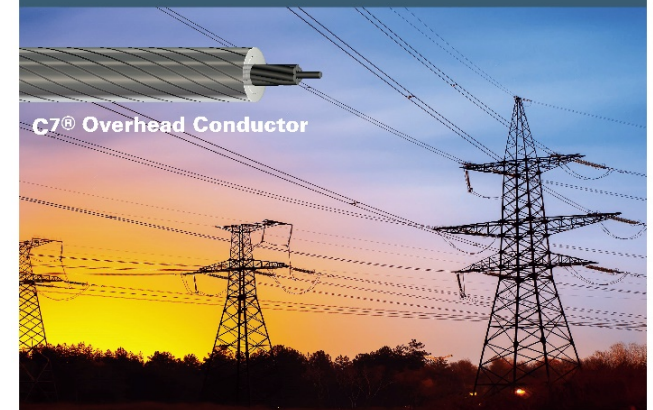
CFCC® 送電線事業の海外展開

3.北米

北米の最大手電線メーカーである Southwire社がCFCC電線をフルラインナップ。Southwire社の送電線年間売上 36,000kmの内、3,000kmをCFCC電線に置換えることを目標に、共同で全米の送電会社への営業展開中。

(Southwire社の年間売上長は当社推定値)

Opening more applications than ever for composite core conductors.



C7® Overhead Conductor



Now Available with Tokyo Rope Core

Southwire社のCFCC電線“C7”シリーズのポスター 同社のホームページ上でも“C7”シリーズのカタログを確認することができる。(<https://www.southwire.com/>)

東京製綱インターナショナル(株)の状況 5

CFCC[®] 送電線事業の海外展開

4.その他の地域

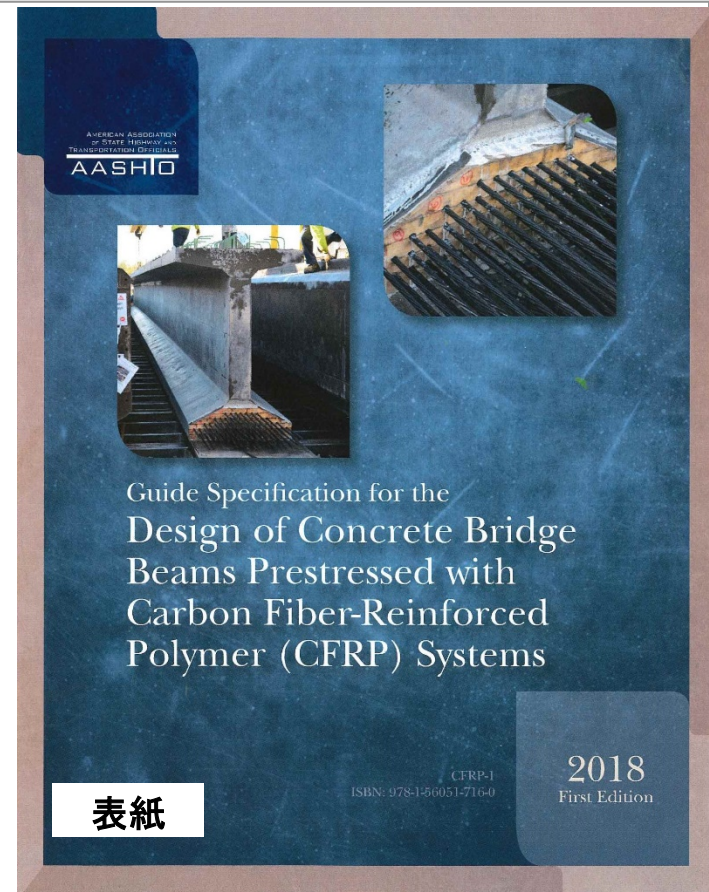
インドネシア	ジャカルタ・プロジェクトが6月に施工開始予定
インド	小規模案件を受注し、入札資格の障害であった実績作りが進捗。
ロシア	国営送電会社・ROSSETI社とCFCC送電線のパイロット・プロジェクト推進中。金具開発、各種手続き中。
マレーシア	タイプテストが完了

東京製綱インターナショナル(株)の状況 6

CFCC®土木事業の進捗

1. 米国(橋梁桁)

- 米国全州道路交通運輸行政官協会 (AASHTO) において、CFRP (炭素繊維強化プラスチック) を緊張材として橋梁に用いる場合の設計指針が承認され、正式に書面化された。当該設計指針が完成したことにより、全米各州でCFCCを用いた橋梁桁の設計が可能となり、CFCCの拡販が期待される
- 足元ではミシガン州、オハイオ州でそれぞれ受注実績あり



東京製綱インターナショナル(株)の状況 7

CFCC®土木事業の進捗

	-1961年までに 建造された橋梁数	1962-2011年に 建造された橋梁数	計
橋梁総数	205,059	400,043	605,102
不良橋梁数	46,796	20,730	67,526



- …不良橋梁
- …CFCC採用実績のある州

東京製綱インターナショナル(株)の状況 8

C F C C[®] 土木事業の進捗

2. 米国 (パイル(杭))

- 北米全体のコンクリート・パイルが対象となる橋は約10万橋、その内パイルの交換が必要とされる橋梁は約5%、この内、沿岸部のような塩害環境下にある橋梁は20%と推定している
- バージニア州のHigh Rise Bridge、Queen’s Creek Bridge向けに約1.8億円を受注



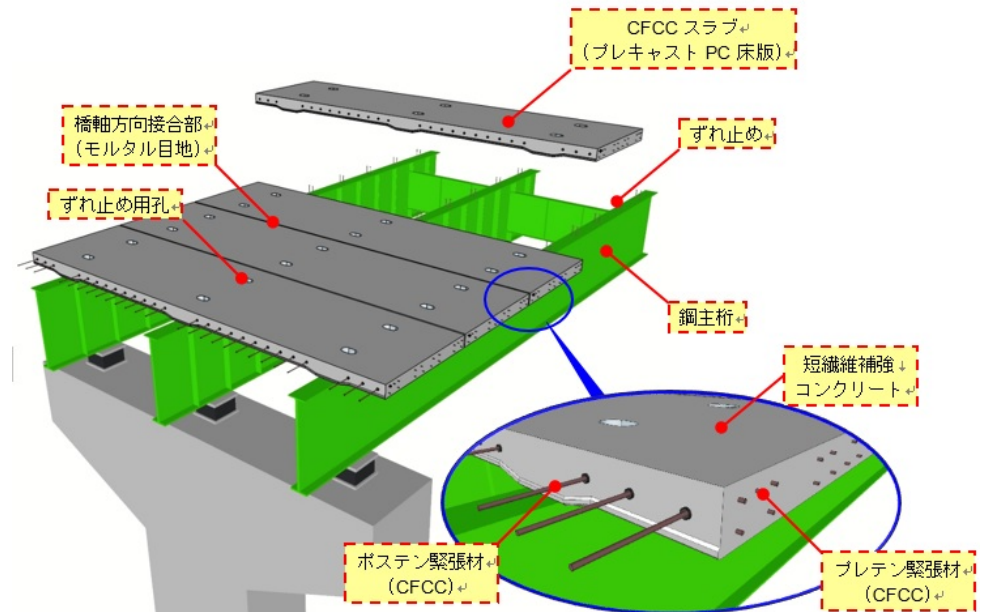
High Rise Bridge

東京製綱インターナショナル(株)の状況 9

CFCC®土木事業の進捗

3.国内

- CFCCを使用したプレキャストPC床版『CFCCスラブ』を
オリエンタル白石(株)と共同開発。腐食しない構造材料である
CFCCを使用することにより、
耐久性確保の確実性や
LCCの低減の観点から、
海岸付近や凍結防止剤が
散布される地域などの厳しい
塩害環境下での活用が期待
される。



東京製綱インターナショナル(株)の状況 10

CFCC[®]土木事業の進捗

- 『CFCCスラブ』がターゲットとしているのは、老朽化した高速道路の橋梁部に使用される床版の取替え需要。東・中・西日本高速道路(株)は2014年に高速道路の大規模更新・大規模修繕を公表しており、その中で橋梁の床版取替えは延長230km、事業費1兆6,500億円が計画されている。その中でもCFCCスラブの活用が期待される塩害環境下にある案件への採用を目指す。
- 床板向けCFCCの年間売上10億円以上を目標に、パートナーであるオリエンタル白石(株)と共同でCFCC床版の普及に努める。

東京製綱インターナショナル(株)の状況 11

防災製品の海外展開

1. フィリピン

- 2018年に受注したフィリピン公共事業道路省パイロットプロジェクトが完工
- 同国では、インフラ設備強化政策にて2017～2022年の6年間で17～19兆円のインフラ整備計画が組まれている
- 内、斜面防災予算として毎年500～1500億円が予想され、当社は3年後に売上高10億円以上を目標として活動を強化している



カーテンネット



ロープネット

東京製綱インターナショナル(株)の状況 12

防災製品の海外展開

2.カザフスタン

- エセンタイ川のRockboxプロジェクトが完納
- 記念にエセンタイ川の河川敷に桜を植樹した
- エセンタイ川では、上流でもRockboxによる護岸工事が計画されており、2019年中に受注予定



Rockboxを敷設したエセンタイ川

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、現時点で当社が把握可能な情報および一定の前提または仮定に基づくものであり、今後、経済情勢をはじめ、当社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、大きく異なる可能性があります。